

泉南走ろう会

連絡先
泉南スノーブル社
0724(83)4653

NO.151

“春のランニングにつけて
やぐりとみんびりと”

会長 遠 健三

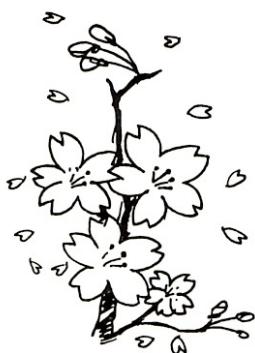
四季のランニングについては、今までに機関紙に何度か書きました。もう何も書くことかないと思ますが、春の流れはなんとも、でも大きな喜びです。光は明るく、暖かく、どの鳥のさえずりが聞かれます。土も柔らかく、川の流水もゆるやかに、野の草も木々も芽を吹き、自然の万物も笑に喜び更えることを感じます。フォーランニングの高齢ともやさんは走る音の一つに五感を磨くことあります。美味しいもつをもつと美味しく食べるこぎで、さるようになーー(まし)ビールを美味しくのめるようにして、音楽をもっと美しく楽しむこと。花の香りを多く聞くこと。走るときに最も嬉しい季節という、なる程なあ。

ところで改めては始めに述べたように春の計りから、やぐり始まりますか、何を言つてよのか、

十二月から三月にかけて取扱やアルマランなどと見て可なり走りこんでいる。春だ、春だとモングエ位です。二十年間の秘けつはナショナル選手が言つたりました。意をもつて。されど、脚の筋肉をやじとしたケガをしてしまいました。春はケガが多いシーズンです。この頃よく見かけます。これから走り始めようとする初心者の方、また冬の寒さによう走ろうと思つて、たが走れなかつた走りを中断してそのままが走り出するを。春は走るのに最もよ、インスです。春夏秋冬、春はトレーニングの基礎期です。しかし、ランナーと、えるほど、かなり走り込んで、ロードランナーは一度初心者に戻る時期かと思ひます。十月から三月にかけての試合はロードレースはほとんどといってよハ程堅い路面を走るもつぱりです。筋肉も硬くなり、万能もくぼれてあります。かのものと。そのためにも試合の休養も兼ねて、やぐりとみんびりと、五感を磨くために走りと、あつてほし。

ワラビもタラの芽も出て来ます。時にはハイニンクは今度初心にもどり、リスラクスして体をほぐし春だ春だ楽しく走りと今度くる。速く走ることより、まず美しいビールをもつて美味しいみます。春、この基礎期ではなかなかと、思ひます。余談ですが、女子の三次世界ランキンギ上位で女王の座を奪はれたりしておりますシユテ、グラフ選手、そしてマルチア・ナバロチア等

両選手とも二十年間にわたって世界チャンピオン位です。二十年間の秘けつはナショナル選手が言つたりました。意をもつて。意外、それは「余り無理をしない」と、大会の結果につづくよくよしなこと。試合はリラックスして楽しむことです。そしてエースだけではなく色々なことに興味をもつこと。僕は意外な程なあ。



反省と抱負

岡田盛助

昨年は8月ごろから左足首を痛め思ふ様に練習が出来なかった。しかし10月の黒潮130kmに出場予定して、いたため走らなりで、どうと不安になり、つい無理して走る。すると左足をかばって走る為か、今度は右足も調子が悪く、どうでしょ、結局元にもどすのに12月までかかるてしまった。それも以前の様に走らうと思ふと苦しいこと、しないこと、何事にも言えることであるが、「継続は力なり」「急がば回れ」とある。2つを実行する為にも故障しないことの大切さを実感しました。

次に先日行われた泉州国際マラソンに参加された皆さん、お疲れさまでした。私も含め抽選に當選した本当に残念でした。しかしレースはそれだけではござん次オレレスを見つけて目標にすることです。私は今長居のアリ、六甲縦走、富士五湖ウルトラマニックに向丁で練習と続けています。とつオ一段階の長居フルは8月6日に西さんと2人での参加でした。か2人とも栗野原さんの応援に励まされ好タイムで無事完走出来ました。

次は六甲ですが、これには5人が参加予定です。そして10月の富士五湖ウルトラマニックです。いざかも完走を目的として無理せず頑張るつもりです。

一、例会日について

1. 三月二十七日はいつも種河神社前広場

集合の例会はありません。

当日六甲全山縦走タイムトライアルに

参加の方、また神戸ハイキミマラソンに

参加の方街健斗を祈ります。

2. 四月度例会十日、二十四日は集合時間

場所は「」もの通りです。

(四月十日 例会日 遠々席)

一、備考

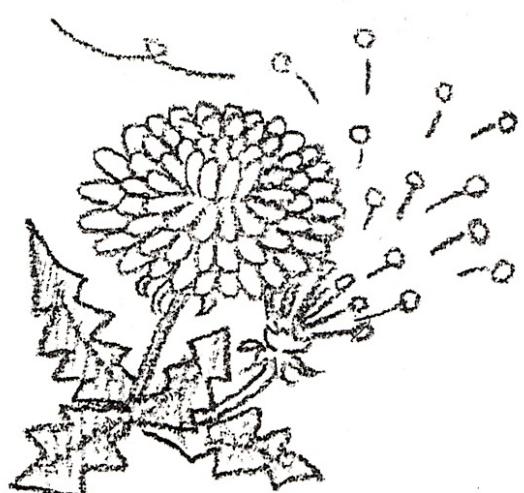
三月十三日振替例会「くまヒリロードレ

ス」に栗野原さん、川本先生、岡田さん、

西さんよく頑張りました。お疲れ様。

石崎さん、細井さん、遠参加申込みな
から棄權する。泉南走り会最強のメンバーワークして因
るなあ、今度からそんなことないよ。

頑張って下さい。



ふ 知 し せ